

研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<p><研究課題名></p> <p>心臓 MRI と ANCA 関連血管炎の心臓病変評価についての探索的研究</p>
<p><研究機関・研究責任者名></p> <p>日本大学医学部附属板橋病院 リウマチ・膠原病内科 (研究責任者) 猪股弘武</p>
<p><研究期間></p> <p>承認日 ~ 令和 7 (西暦 2025) 年 12 月 31 日</p>
<p><研究の目的と意義></p> <p>顕微鏡的多発血管炎、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、多発血管炎性肉芽腫症は抗好中球細胞質抗体 (ANCA) という自己抗体を認めることが多い血管炎のため、ANCA 関連血管炎といえます。血管炎は心臓に症状が出る場合があり、その場合には命にかかわりますが、心臓の異常を心臓超音波検査では見つけるのは難しく、未だによくわかっていません。ANCA が共通していますが、心臓への症状が違うのではないかとわれています。心臓 MRI を用いた本研究によって、心臓にどのような病気が起こるかを評価し、それぞれの病気に対して適切な治療につなげることを目的として行います。</p>
<p><利用する試料・情報の項目></p> <p>診療記録より、年齢、性別、X線写真、心臓 MRI、心臓超音波検査の結果、心電図、血液検査データ (自己抗体など)、病理組織、身体所見を使用いたします。</p>
<p><対象となる方></p> <p>2014年1月1日から2025年10月31日までにリウマチ・膠原病内科 (旧 血液膠原病内科) で、顕微鏡的多発血管炎、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 (旧病名: Churg-Strauss (チャーグ・ストラウス) 症候群、アレルギー性肉芽腫性血管炎)、多発血管炎性肉芽腫症 (旧病名: Wegener (ウェゲナー) 肉芽腫症) と診断され通院歴がある20歳以上の方。</p>
<p><研究の方法></p> <p>顕微鏡的多発血管炎、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、多発血管炎性肉芽腫症と診断され、心臓超音波検査、心臓 MRI 検査を施行された方において、臨床背景、自己抗体、血液検査所見と比べ合わせ、顕微鏡的多発血管炎、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、多発血管炎性肉芽腫症における心臓の異常につながる項目を検索していきます。</p>
<p><お問い合わせ窓口></p> <p>日本大学医学部附属板橋病院 (東京都板橋区大谷口上町 30-1)</p> <p>リウマチ・膠原病内科 氏名: 猪股弘武</p> <p>電話: 03-3972-8111 内線: (医局) 2403</p>